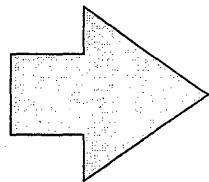


# 地域雇用開発促進法に基づく地域類型と支援措置の見直し

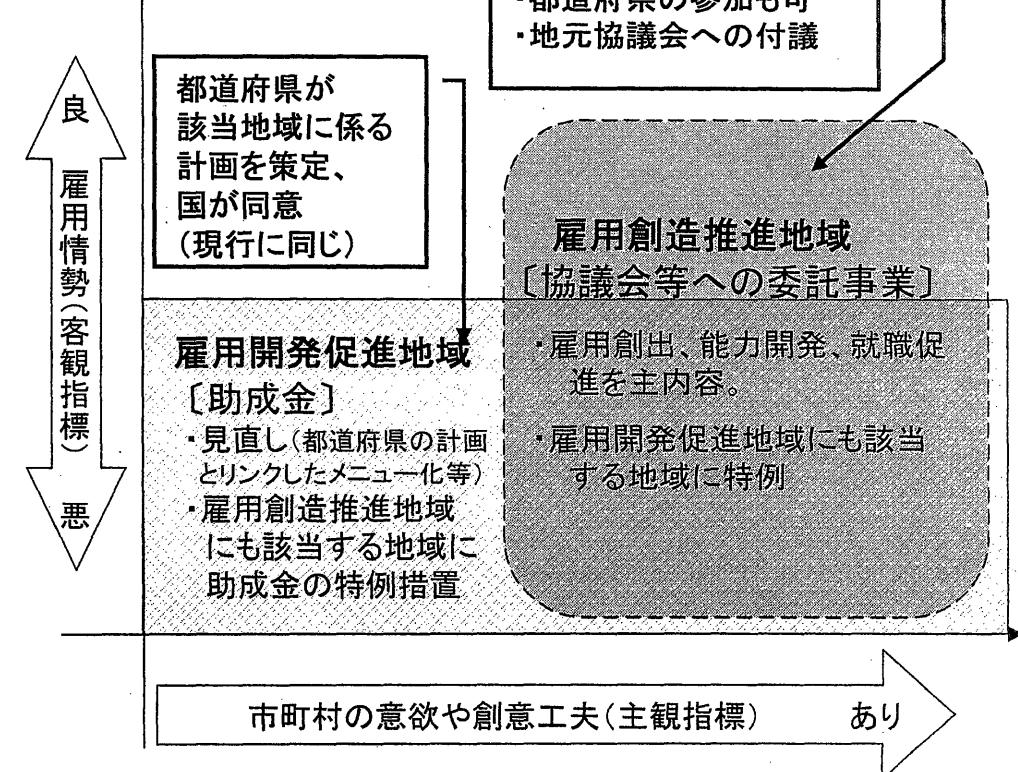
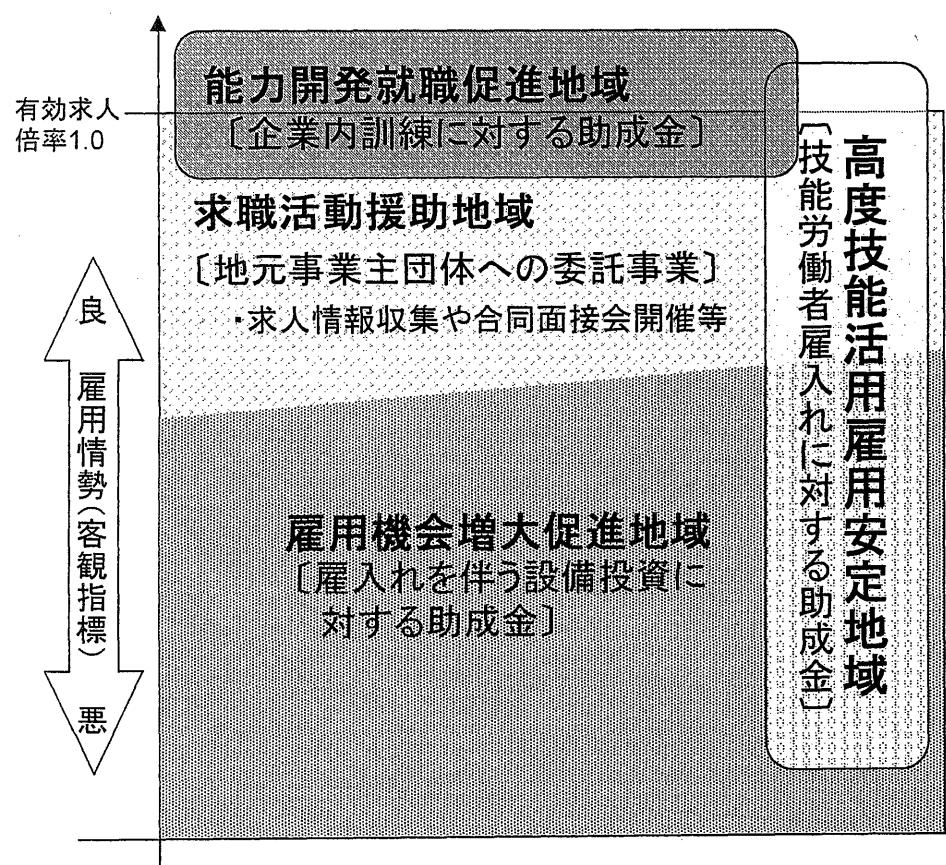
現行

- 雇用情勢に応じて、都道府県が地域(4類型)を設定し、計画を策定する。  
→助成金等



見直し後

- 雇用情勢と地域の意欲・創意工夫に応じた2地域類型。
  - ・雇用情勢が特に厳しい地域 →助成金
  - ・地域の意欲が高い地域 →市町村等の創意を活かした委託事業



# 地域雇用開発促進法の見直し(案)について

現行

厚生労働大臣が定める指針に基づき、地域ごとに都道府県が計画を策定し、国が同意。

雇用機会増大促進地域	能力開発就職促進地域	求職活動援助地域	高度技能活用雇用安定地域
雇用情勢が厳しい地域 ・地域雇用開発促進助成金	能力のミスマッチが存在する地域 ・地域人材高度化能力開発助成金	情報のミスマッチが存在する地域 ・地域求職活動援助事業	高度技能労働者を雇用する事業所が集積する地域 ・地域高度人材確保奨励金、地域人材高度化能力開発助成金

見直し

雇用情勢の地域差の存在。その解消のためにも地域の自主的な取組が不可欠。

地域類型・支援措置を雇用情勢と地域の意欲、創意工夫に応じて2類型に重点化。

改  
正  
後

